

# ランサムウェアの脅威への対応に向けて Rubrikでデータのバックアップを二重化 顧客情報やMicrosoft 365などの データセキュリティの強化を実現



## 業界：金融機関

### 導入前の課題：

- 金融機関に求められるデータセキュリティのさらなる向上
- ランサムウェア対策において不可欠なバックアップの二重化
- 異なるツールを使った煩雑なバックアップ対応の効率化
- Microsoft 365など新たなバックアップ要件への対応

### 導入効果：

- 高度なセキュリティが担保されたバックアップの二重化の実現
- 異なるシステムのバックアップを1つのインターフェース (Rubrik Security Cloud) で一元管理
- 専門知識を必要としない優れた操作性
- Ransomware Investigationを使ったランサムウェアの迅速な検知・影響範囲の特定・復旧

### ITトランスフォーメーションの 成果：

各システムの既存のバックアップ機能に加えて、バックアップの二重化のための基盤として Rubrik を導入。Rubrik Security Cloud の優れた操作性と確実な状況把握により、システム部門の負荷を軽減。さらに Ransomware Investigation によってランサムウェアの迅速な検知・影響範囲の特定・復旧が担保され、より信頼性の高いセキュリティ基盤が構築された。

福岡県、山口県下関市、大分県中津市などのエリアを中心に、地域経済の発展に貢献する幅広い金融サービスを展開し、2024年1月には設立100周年を迎える福岡ひびき信用金庫。数多くの金融機関の中でも、最新のテクノロジーを積極的に採用することで知られる同信金では、データ資産のセキュリティおよびBCP対策の強化に向けて、Rubrikのバックアップアプライアンスを導入。バックアップの二重化によるデータセキュリティの強化と同時に、ランサムウェア対策も含めた高度なセキュリティ基盤を構築しています。

### ランサムウェア対策の強化に向けたデータバックアップの二重化

「地域の人々の心と生活（暮らし）を豊かにする」というミッションを掲げ、地域に密着した金融サービスを提供する福岡ひびき信用金庫。幅広いサービスを支える事業基盤として、早くから積極的なIT投資を続けてきた同信金では、約1,000台におよぶ仮想マシンやデータベース、ファイルサーバなどが稼働し、そこでは膨大なデータ資産が管理されています。

「金融サービスという事業の特性からも、これらのデータはお客様情報を含めて高い機密性が求められるものばかりです。そのため、当信金ではデータの安全な管理、セキュリティには、常に細心の注意を払っています」と話すのは、システム部の部長を務める吉田篤史氏です。

こうした同信金にとって新たな課題となっていたのが、これらのデータのバックアップ環境の強化でした。すでに仮想マシンのイメージバックアップ、夜間バッチによるOracleデータベースのバックアップなどは行っていたものの、ランサムウェアに代表されるさまざまな脅威への対応を考えると、もはやバックアップの二重化は避けられない状況でした。

「私たちのような金融機関には、サイバー攻撃への備えにおいても高いレベルの対策が求められます。そのためバックアップの二重化を支えるソリューションの選定においては、仮想マシン、Oracleデータベース、ファイルサーバといったこれまでのバックアップ環境の強化に加えて、この数年で利用が拡大しているMicrosoft 365のバックアップ、さらにこれらのデータの安全性を担保するランサムウェア対策の機能が必須の要件となりました」

また、同信金のシステム運用は実質9名という人員で内製化されていることから、新たなバックアップソリューションも導入が容易、かつ優れた操作性を備えている必要があります。これらを踏まえて2021年末から検討を開始した複数の選択肢の中で、同信金が求める要件に合致したのがRubrikのソリューションでした。

### わかりやすいユーザーインターフェースで 異なるシステムのバックアップを一元管理

複数の候補の中から、最終的に福岡ひびき信用金庫がRubrikのバックアップアプライアンスを選定したポイントについて、吉田氏は次のように説明します。

「1つの筐体で自動バックアップ、インスタントリカバリ、レプリケーション、およ

びデータアーカイブなどの機能を網羅するRubrikは、導入が容易であることに加えて、SaaSベースの統合管理ツールであるRubrik Security Cloudを活用することで、わかりやすい1つのインターフェースで異なるシステムのバックアップを一元的に管理することができます。私たちシステム部の体制を考えると、この効率性は大きな差別化要因でした。また、経営側への説明においてはランサムウェア対策が重要なテーマでしたが、ここでも最新のサイバー攻撃の迅速な検知、影響範囲の特定およびリカバリを可能にするRansomware Investigationの機能を高く評価しました」

新たなバックアップソリューションの選定に参画したシステム部 調査役の宮地真之氏も、Rubrikの操作性を次のように評価します。

「これまで仮想マシンのイメージバックアップには他社製品を利用してきましたが、この製品の管理画面は英語でしかサポートされていないのに対して、Rubrikは日本語でメニューを表示することができます。この点は運用における大きなアドバンテージでした」

### Microsoft 365のバックアップ設定は わずか10分のオンラインサポートで完了

2021年12月にRubrikの採用を決定した福岡ひびき信用金庫では、2022年4月から新たなバックアップ環境の実運用を無事に開始しています。導入プロジェクトの経過について、宮地氏は次のように振り返ります。

「システム運用を内製化してきた当信金では、Rubrikも自社要員での導入を前提に採用を決定しました。アプライアンス製品であるRubrikは、他社のソフトウェア製品とは異なり、サーバの調達やソフトウェアのインストールといった作業が発生しないことから、筐体をラックにセットして設定を済ませるだけで、短期間で運用を開始することができました」

さらに、吉田氏はRubrikのシステムエンジニアによるサポートについて言及し、「Rubrikの導入に伴ってOracleデータベースの設定変更などが発生しましたが、こうした点はRubrikのシステムエンジニアのサポートによって簡単に解決しました。また、新たな要件となったMicrosoft 365のバックアップ設定に至っては、Webミーティングを経由したオンラインサポートでわずか10分程度の時間で完了しました」と話します。

Rubrikの実運用の開始から約6カ月が経過した現在、吉田氏はそ



福岡ひびき信用金庫  
システム部 部長  
吉田 篤史 氏



福岡ひびき信用金庫  
システム部 調査役  
宮地 真之 氏

こから生まれた成果について次のように評価します。

「管理画面が煩雑なこれまでのシステムでは、バックアップが問題なく取得できているかといった確認は専門知識を備えたシステム部で対応するしかありませんでした。特にファイルサーバのバックアップ確認には一定の時間を要していましたが、現在はRubrik Security Cloudの管理画面に表示されるチェックやアラートで簡単に状況を把握することができます。これにより管理作業が効率化し、今後は確認作業を専門的な知識が無い職員へも移管できる見通しが立ったことは大きな成果です」

### バックアップデータのクラウド移行も視野に BCPを支えるセキュリティ基盤を継続的に強化

Rubrikを活用したバックアップの二重化によって着実な成果を生み出しつつある福岡ひびき信用金庫では、すでに今後についても具体的な検討を開始しています。

「これまでの運用の中で、新たにSQL Serverに格納された電子帳票のバックアップや一部の仮想マシンのイメージバックアップをRubrikで行うようになっていきます。特に仮想マシンのイメージバックアップについては、現在使用している他社製品のRubrikへの切り替えのほか、BCPの一環としてバックアップデータのクラウド移行も検討しています。Rubrikのサポート体制があれば、当信金の事業を支えるセキュリティ基盤を継続的に強化していけると期待しています」(吉田氏)

積極的なIT投資を通じてテクノロジーの価値を最大限に活用し、地域経済の発展と人々の豊かなくらしに貢献する福岡ひびき信用金庫。同信金の事業を支える安全なデータ活用において、Rubrikは今後もさらに大きな成果をもたらしていくはずだ。



ルーブリック・ジャパン株式会社  
〒105-0001  
東京都港区虎ノ門1-10-5  
KDX虎ノ門1丁目ビル11F

お問い合わせ先  
japan-info@rubrik.com  
050-3733-1850  
www.rubrik.com/ja/

ルーブリックは、インスタント・アプリケーション・アベイラビリティにより、ハイブリッド・クラウド環境における確実なリカバリやデータ検索、そしてクラウド化への対応が可能となります。市場をリードするCloud Data Management プラットフォームは、わずか数秒でセルフサービスによるアクセスや、自動的な保護ポリシーの適用、大規模なアプリケーションデータの検索や分析、さらにはランサムウェアからのリカバリなどを実現し、エンタープライズ環境におけるデータ保護やアプリケーションのさらなる活用をもたらします。

RubrikはRubrik, Inc.の登録商標です。本ドキュメント中に記載された会社名、製品名などは、各社の登録商標 または商標です。